

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(3/4)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」 地域活性化総合特区(大阪府等)	正	B 3.6	B 4.0 進捗度 ・がん患者診療数 94% ・特区案内士登録者数 43% 等	C 3.1 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業等 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金等	±0.00	<p>・「健康や医療目的の訪日観光促進事業」(※1)と「ホスピタリティ・地域魅力の向上事業」(※2)は<u>やや遅れ(※3)が出ているが、取組は名実ともに先進的取組であるだけに、今後のさらなる改善、努力に期待したい。</u></p> <p>・概ね進んでいるが<u>観光については内容的には物足りない。</u>「ホスピタリティ・地域魅力の向上事業」、地域資源の活用など<u>具体的に新たな来訪者が増加する方策の中身を検討してほしい(市内ツアーを作るだけでなく、訪日客の来訪目的別分析等、データを基に訪問者数増加への主体的戦略がみえるような取組を期待。)</u>。</p> <p>※1:生活習慣病対策などの健康や医療をテーマにした観光ツアーの提供による外国人の誘客を促進。また、医療機関・飲食店・温泉等が連携し、患者や同伴者が滞在中に参加できるツアーを企画提供する事業。</p> <p>※2:外国人視点からの地域観光資源再評価に基づくツアー造成・提供、地域住民等による通訳案内でホスピタリティ向上、ショッピングの魅力強化、インターナショナルカフェの設置によるインターネット対策の充実等の事業。</p> <p>※3:医療通訳育成数(H24年度目標)80人、(実績)69人、進捗度86%。特区案内士登録者数(H24年度目標)30人、(実績)13人、進捗度43%</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。